

令和7年度 いわた高校生まちづくり研究所 企画提案発表会 発表内容一覧

グループ名	発表テーマ・解決したい課題	提案内容
磐田振興同好会 (磐田東高校)	「スポーツを通して磐田を元気に」 ・ 磐田市は「スポーツのまち」を掲げているが、スポーツができる場所が少ない	身近にあるスポーツであるサッカーとバレーを組み合わせた「テックバレー」を普及させることで、健康な町を実現する。
いわたひろめ隊 (磐田北高校)	「磐田市の10代・20代の若者に人気なまち」 ・ 若者に磐田の魅力が知られていない	高校生が推す市内のお店を掲載したランチョンマップ、カフェマップを作成し、市内店舗においてもらう。
見付17 (見付分校)	「学校給食をもう一度～給食でまた来たくなる磐田～」 ・ 給食が食べられる場所がない	誰でも給食が食べられる場所をつくり、地元食材の活用や多世代交流の場づくり、健康な食生活を実現するとともに磐田を好きになってもらう。
サイリウム (磐田北高校)	「生まれ変わる！磐田市の公共施設！次世代型「施設」への挑戦」 ・ 思い出の詰まった公共施設（学校）の活用	ペットの犬と楽しめる施設（ドッグラン、カフェ、避難所）を設置することで、犬（しっぺい）の町としての認知してもらう。学校を活用した体験型宿泊施設を整備することで、地域内外の人に磐田の魅力を知ってもらう。
特殊部隊 グランメゾン磐西 (磐田西高校)	「幸エビから広がる磐田の幸福」 ・ 特産品が知られていない ・ ゴミ問題（マイクロプラスチック）	磐田市の特産物を学べる施設（ミュージアム、レストラン）の設置や、御厨駅からスタジアムまでの間でイベントを実施することで、幸エビの知名度を上げる。プロギングの実施することで、楽しくごみ問題を考える機会をつくる。
ニコニコ (磐田農業高校)	「食育から始まる町づくり」 ・ 農家数が減少している ・ 子どもたちの食に対する知識が乏しい	高校生と一緒に農業体験や調理体験をすることで、食に対する知識を高める。食についてのイベントを実施したり、親子で楽しめる教材をつくることで、子どもの食に対する関心を高める。
BBBアザレア隊 (磐田南高校)	「土日に人の集まる文化の賑わいを持つ町」 ・ かたりあまでの交通手段がない ・ 豊田町駅前に人が集まらない	文化ゾーン用の「乗り貸しバス」を設けたり、かたりあでキッチンカーの出店、野外ステージを設置するなどして、豊田町駅からかたりあまでの文化ゾーンを盛り上げる。